

天溪 2019 年「フランスアルプス・バノワーズ 10 日間」

「フランスアルプス・バノワーズ 10 日間」を 7 月 18 日～7 月 27 日に行いました。

このツアーは天溪が毎年行う縦走シリーズで、フランスのバノワーズ国立公園内にあるバノワーズ氷河を 5 泊 6 日の山小屋泊で一周しました。恐らくバノワーズと聞いてもピンと来ないかも知れませんが、ざっと話すとイタリアのアオスタ谷に広がるグランパラディソ国立公園の西隣り。また、西欧最高峰のモンブラン(4810m)から南西に約 100Km 圏に広がります。トレッキングを行ったのは、パリで 70 年間破られた事が無い最高気温の記録 40.4 度が更新されたスパー猛暑の時。薄青みがかった景色を作る乾燥、肌を射す強い日差し、などから毎日美味しくビールがいただけました。



(バノワーズ針峰下の湖 7/19 日)

○バノワーズ国立公園ほか

バノワーズ国立公園はフランスに 10 ヶ所ある国立公園の一つで、モンブラン麓のシャモニと同じサボア州に位置します。トレッキングベースのプラローニャン・ラ・バノワーズはジュネーブ空港から車で約 3 時間弱。この周辺はフランスを代表するスキー場が幾つか有り、その一つのアルベールビルは 1992 年冬季オリンピック開催地です。

旅の帰りに使ったプチ(小)・サン・ベルナール峠(2188m)はローマ時代から続くフランス/イタリアの交易ルートで、アフリカ像に乗りローマ帝国を攻めた猛将ハンニバルはアルプス越えにこの峠を通ったとか。一方、直線距離 30Km ほど東にあるグラン(大)・サン・ベルナール峠はスイス/イタリアの交易ルートで、ナポレオンがイタリアに攻め込んだ時に通ったアルプスの峠です。



(バノワーズ小屋 7/19 日)



○植物

イタリアのグランパラディソ国立公園は偉大なる楽園と言われますが、その西に隣接するこの地域も負けず劣らず高山植物の宝庫です。特徴を一言で言えば花が密集していて大きい。この時期は色々な花が咲き乱れていますが、下の写真は こけまんてま の群生。辺り一面ピンク色に敷き詰められた花の絨毯は素晴らしく、花卉は他の地域では見られない大きさでした。尚、ルート上にはエーデルワイスを結構たくさん見る事が出来ました。



(苔マンテマの群生 7/20 日)



○山小屋

今回泊まった山小屋は食事も美味しく(サバア郷土料理)、シャワー完備(冷水も有り)、2 段式ベッドの部屋(上段は少々大変)、結構充実していました。残念なのは 6 日間荷物の入れ替えサービスが無い事。要は同じ衣類の着っぱなしを覚悟しなければなりません、乾燥したこの地は洗濯物の渴きが良く 1 着 着替えが有れば済みそうです。(山小屋 5 軒中 2 軒に物干場有)



(羊の群れ 7/21 日)



(アルペンローゼ 7/22 日)



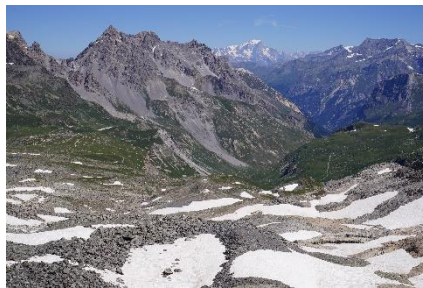


○トレック最後の峠

このルートで一番高いシャビエの科尔((2796m) を登り詰めると周りには残雪が一杯。ふと前方を見ればモンブランの頂が構えていました。若干早く小屋に着いたので展望テラスでのんびりお昼寝タイムし、旅の余韻に浸りました。



(シャビエール峠 7/23 日)



天溪ツアーは少々夏休みをいただき 8 月後半から「ピレネー国境横断ハイキング 10 日間」、「紅葉カナディアンロッキーとオーロラ 9 日間」、「インカ道マチュピチュとナスカ地上絵 12 日間」、「アンナブルナ内院 13 日間」等が続きます。